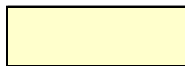


補助金交付申請書 記入例

この記入例では、入力方法の種類ごとに色分けして説明しています。



黄色は 交付申請者が入力する項目です



緑色は 自動で入力される項目です



青色は 建築士が入力する項目です



桃色は 手書きで記入する項目です



灰色は 事務局で使用する欄です

<認定長期優良住宅型・単価積上方式>

交付申請書を作成するためには、まず事業者ポータルサイトで事業者登録と住宅登録を行ってください。

※この入力シートは提出の必要はありませんが、必ず確認・入力をしてください。入力をしないと他の様式類の計算が正しく表示されません。

<交付申請番号入力シート>（交付申請

- 1 交付申請番号と*番号を入力してください。

交付申請番号と*番号は、事業者ポータルサイト「令和6年度長期優良住宅化リフォーム助成」に記載されています。

認定長期優良住宅型の場合は「2」が付番されています

交付申請番号							管理番号			
年度	事業者番号					住宅番号	*	※支援室記入欄		
06	3	2	x	x	x	001	2			

※ここに入力した交付申請番号と*番号は各様式の上部に反映されます。

※交付申請後に、変わった場合や、いただきます。交付申請番号が

交付申請番号はポータルサイトからダウンロードした様式1の右上に記載されていますので転記してください。

※ここに入力がない場合、他の様式類の計算が正しく表示されません。

- 2 「申請タイプ」「事業タイプ」を確認してください。

申請タイプ	通年申請タイプ
事業タイプ	認定長期優良住宅型

「申請タイプ」「事業タイプ」が予定している交付申請と異なる場合は、住宅情報の登録に間違いがありますので、もう一度住宅情報を登録してから補交付申請書をダウンロードしてください。

必ず確認してください

- 3 評価基準等の審査について

この申請は、長期優良住宅（増改築）認定に係る評価機関の「技術的審査適合証（長期使用構造等である旨の確認書）」の添付が必要です。交付申請時まで技術的審査適合証を取得（直接認定申請書を受け付ける行政庁の場合は、認定通知書を取得）してください。

- 4 注意事項

- (1) 提出書類に不足はありませんか。次のシートの「提出書類チェックシート（交付申請用）」で確認してください。
- (2) 作成した様式データの最終版は、必ず保存してください。事業タイプに応じて、交付申請時に作成した様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4、様式8、様式8の2、様式8の3を完了実績報告時に使用します。

補助金交付申請書（様式1）記入例 ＜認定長期優良住宅型・単価積上方式＞

事業者ポータルサイトからダウンロードし印刷してください。

この記入例でセルが緑色になっている部分は自動入力されます。
記載に誤りがある場合は事業者登録システムの情報を修正し、
印刷し直してください。

事業タイプ	交付申請番号										管理番号								
	年度	事業者番号						住宅番号	*	※支援室記入欄									
認定長期優良住宅型	0	6	-	3	2	x	x	x	x	-	0	0	1	-	2	-			

申請日 令和 6 年 6 月 0 日

↑ 提出日を記入してください。

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

令和6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金交付申請書

令和6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業に要する費用について、補助金6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金交付規程第5の規定により、関係します。

提出する年月日を油性のボールペンで記入してください

記

交付申請者（補助事業者） 【リフォーム事業者（法人）】

法人・個人事業主等の名称	リガナ カナシカ イヤココムテン 株式会社〇〇工務店			支店・事業所名	リガナ 〇〇シテ 〇〇支店
代表者	氏名	リガナ 〇〇 □□ 〇〇 □□		役職等	代表取締役
法人・団体等の住所	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇 △ビル〇F				
電話番号	012-345-****		法人番号	123456789****	

交付申請額

2,100 千円

様式9の右下に算出された交付申請額を記入してください

交付申請する住宅の所在地等

住宅の所在地（住居表示）	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇				
建物名称			部屋番号		
建物の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 店舗等併用住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅・長屋(<input type="checkbox"/> 一棟申請 <input type="checkbox"/> 住戸申請)				

工事発注者（共同事業者）

※補助事業者が買取再販業者の場合は記入不要です。

名称・氏名	リガナ ●● □□ ●● □□		安心R住宅	<input type="checkbox"/> 売主 <input type="checkbox"/> 買主	
住所	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇				
建物名称			部屋番号		

補助事業の概要

様式4のとおり

全体記

事業完了の期日

令和 6年 11月 20日

工事請負契約による完了引渡し日または完了実績報告提出期限のいずれか早い日を記入してください

(備考) 工事請負契約による完了引渡し日または完了実績報告提出期限のいずれか早い日

事業者登録日

令和6年4月15日

住宅登録日

令和6年5月20日

(注意事項)

- 交付申請書は、1住戸（共同住宅・長屋で建物の全体の工事を含む場合は1棟）につき1枚作成してください。
- 修正液、訂正印での修正はできません。記載事項に誤りがある場合は、事業者登録システムの情報を修正し、再度印刷してください。
- 記入、押印漏れ、提出書類の不足がある場合は、交付申請の受付は行いません。
- 申請日の記入が漏れていた場合は、交付申請書の到着日を申請日として扱います。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式2）記入例

<認定長期優良住宅型・単価積上方式>

甲と乙は、本規約を3通作成し、2通をそれぞれ保管するものとし、1通を実施支援室に提出してください。

申告内容に虚偽等が存することが判明した場合は、本補助金交付申請に係る補助金交付決定が取り消され、交付された補助金を返還することになります。

甲と乙は、虚偽の申告を行うことで相手に損害を与えた時は、当該損害についてその責任を負うことになります。

※買取再販業者が交付申請者の場合は「様式2」は提出不要です。

事業タイプ	交付申請番号	年
認定長期優良住宅型	0	

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

交付申請者 (施工業者)	名称	株式会社〇〇工務店
	代表者	〇〇 〇〇

法人の場合は会社の代表者印、個人事業主の場合は実印

甲(工事発注者)と乙(施工業者)は、令和6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業(以下、「本事業」という。)に対する補助金(以下、「本補助金」という。)の交付を受けるため、以下の共同事業実施規約(以下、「本規約」という。)を互いに確認し、本規約に従って補助事業を実施するものとして、届け出ます。

令和6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業 共同事業実施規約

(要件等の確認)

- 第1条 甲と乙は、本補助金の交付規程、マニュアル等をよく参照し、それぞれ交付対象の要件に合致する。また、要件に反する事項があることを知った場合、すみやかに相手に通知する義務を負う。
- 2 甲と乙は本規約の締結をもって、以下の(イ)から(ニ)の全ての事項について、了解したものとす。
- (イ) 本補助金の補助対象となるリフォームについて、国費が充当された他の補助金との併用は行わないこと(対象部分を除く部分は、この限りではない)
 - (ロ) 本補助金を受けた住宅(以下、「住宅」という。)について善良な管理者の注意をもって管理し、補助金の効率的な運用を行わなければならないこと
 - (ハ) 甲は、住宅の引渡しから10年間、支援室の承認なく、補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保(以下「補助事業者である施工業者や住宅所有者等が、本補助金の交付を受けた住宅を、賃貸し、貸し付け、または担保に供する場合を除く。)、なお、本事業によりリフォーム工事を実施した日から10年以内に、承認を得ずに住宅以外への用途変更や取壊しを行った場合は、交付した補助金

交付申請書に添付する1通にはこの欄に記名押印をしてください

様式1(事業者登録情報)に記載の「交付申請者」欄と同じ内容を入力してください

甲乙それぞれにチェックしてください

「有り」にチェックした場合は「様式2の2」も作成してください

甲乙が「関係会社」でない場合は単価積上方式で申請するときであっても「該当しない」にチェックしてください

- 第2条 甲と乙は、本補助金の交付申請が制限される以下の(イ)から(ハ)の事項への該当の有無に留意し、甲乙は、乙は、その役員等(実質的に経営に関与する者を含む。)を含むものとする。
- (イ) 令和3年度以降、国土交通省住宅局が所轄する他の補助事業において、本補助金の交付規程第15の規定に相当する理由で補助金の返還を求められたこと
 - (ロ) 甲乙の関係が交付規程第6第5項及び第6項に規定する関係会社等に該当すること
 - (ハ) 暴力団又は暴力団員であること、及び暴力団又は暴力団員との不適切な関係にあること

甲 (有り 無し) 乙 (有り 無し)

(有りの場合の返還補助金の概要は別紙による)

(該当する(三者見積を提出) 該当する(単価積上方式により申請) 該当しない)

甲 (該当有り 該当無し) 乙 (該当有り 該当無し)

(ロ)の“交付規程第5第4項及び第5項に規定する関係会社等”とは、以下に当たる場合を指します。

- 一 100%同一の資本に属するグループ企業
- 二 補助事業者の関係会社(財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則第8条第8項で定めるもの。前号を除く。)
- 三 補助事業者の役員である者(親族を含む)又はこれらの者が役員に就任している 法人

甲乙それぞれにチェックしてください

どちらかにチェックしてください

(締結時にいずれか選択すること)

- 現金の支払い
- 甲の乙に対する債務と相殺(当該債務は、本制度により交付が見込まれる補助金額について、甲が乙に支払うべき工事代金から、支払いを猶予することにより生じるものであり、本規約によって甲と乙が同意するものである。)

工事請負契約書が電子契約の場合チェックしてください

(工事請負契約書が電子契約の場合) 該当する場合チェック 甲乙間の本件工事請負契約は電磁的措置(電子契約)により締結したものであることを申告します。

甲と乙は、本規約を2通作成し、各1通をそれぞれ保管するものとし、写しを実施支援室に提出する。

令和6年 6月 〇日

【甲】工事発注者	【乙】施工業者
住所	住所
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町
●丁目△番地〇〇	▲丁目〇 △ビル〇F
氏名	名称
〇〇 〇〇	株式会社〇〇工務店
代表者	代表者
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇

法人・団体等の場合は、氏名欄に名称と代表者名を記入してください。連名の場合はそれぞれの方の住所と記名押印が必要です。

※印鑑は契約書と同一の印鑑を使用してください。

工事着手までに締結してください。

契約が連名の場合は2名分の氏名・押印が必要です

様式1 又は 契約書と同じになります

住所は住居表示で都道府県から入力してください 甲乙それぞれが記名押印してください ※印鑑は契約書と同一の印鑑を使用してください

「様式2」の共同事業実施規約 第2条(イ)で「有り」に
チェックした場合は提出が必要です

様式2の2

事業タイプ
認定長期優良住宅型

交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号		
	0 6 - 3 2 × × × × - 0 0 1											

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

令和6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業 共同事業実施規約（別紙）

令和6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業共同事業実施規約第2条(イ)により補助金の返還がある場合の返還補助金の概要は次のとおりです。

補助事業者の名称	●● □□
事業名	令和○年度○○推進事業補助金
返還命令日	令和 ○年 ○月 ○日
返還日	令和 △年 △月 △日
返還額(円)	000,000円
返還事由	○○の要件違反

漏れなく入力してください

交付申請者が買取再販業者である場合は提出が必要です。
 申告内容に虚偽等が存することが判明した場合は、本補助金交付申請に係る補助金交付決定が取り消され、交付された補助金を返還することになります。
 ※施工業者が補助事業者の場合は「様式3」は提出不要です。

事業タイプ
認定長期優良住宅型

交付申請番号	年度	事業者番号	住宅番号
06-32XXXX-001	06	32XXXX	001

様式3

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

様式1（事業者登録情報）に記載の「交付申請者」欄と同じ内容を入力してください

交付申請者 (買取再販業者)	住所	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目〇
名称	株式会社〇〇住販	
代表者	〇〇 △△△	



令和6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業 買取再販に係る誓約書

令和6年度長期優良住宅化リフォーム推進事業（以下、「本事業」という。）に対する補助金（以下、「本補助金」という。）の交付を受けるため、本誓約書の内容に従って補助事業を実施するものとして、届け出ます。

(要件等の確認)

(ロ)の「交付規程第5第4項及び第5項に規定する関係会社等」とは、以下に当たる場合を指します。

- 一 100%同一の資本に属するグループ企業
- 二 補助事業者の関係会社（財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則第8条第8項で定めるもの。前号を除く。）
- 三 補助事業者の役員である者（親族を含む）又はこれらの者が役員に就任している 法人

（注）なお、本事業によりリフォーム工事を実施した住宅において、補助事業完了後10年以内に、承認を得ずに住宅以外への用途変更や取壊しを行った場合は、交付した補助金の全部又は一部を返納すること

(二) 提出した個人情報は、支援室が国から本事業に係る補助金の交付を受けた年度終了後5年間保存され、本補助金の目的の範囲内で国土交通省の求めに応じて報告されるほか、国、地方公共団体および国の他の補助事業の事務事業を他の国庫補助事業実施上の要請に基づき、これらの機関に提供されることがあり、また当該個人情報に基づき公表されることがあること

(申告)

第2条 本補助金の交付申請が制限される以下の(イ)から(ハ)の事項への該当の有無について、

(イ) 令和3年度以降、国土交通省住宅局が所轄する他の補助事業において、本補助金の交付規程第15条の規定に相当する理由で補助金の返還を求められたこと

(有り 無し (有りの場合の返還補助金の概要は下記による))

(ロ) リフォーム工事の施工業者が、交付規程第6第5項及び第6項に規定する関係会社等に該当すること

(該当する(三者見積を提出) 該当する(単価積上方式により申請) 該当しない)

(ハ) 暴力団又は暴力団員であること、及び暴力団又は暴力団員との不適切な関係にあること

(該当有り 該当無し)

（注）前項の申告内容に虚偽等が存することが判明した場合に、本補助金交付申請に係る補助金を返還することについて、一切の意義を申し立てません。

(対象住宅の購入者の説明)

対し、対象の住宅が本補助金の交付を受ける

の事項を理解する者として

「有り」にチェックした場合は下表の返還補助金の概要を入力してください

甲乙が「関係会社」でない場合は単価積上方式で申請するときであっても「該当しない」にチェックしてください

どちらかにチェックしてください

工事請負契約書が電子契約の場合チェックしてください

(工事請負契約書が電子契約の場合)

該当する場合チェック 甲乙間の本件工事請負契約は電磁的措置(電子契約)により締結したものであることを申告します。

上記第2条(イ)により補助金の返還を求められたことがある場合の返還補助金の概要は次のとおりです。

補助事業者の名称	
事業名	
返還命令日	年 月 日
返還日	年 月 日
返還額(円)	
返還事由	

補助金交付申請書（様式4）記入例
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

様式4

事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号	住宅番号
	06-32XXXX-001	06	32XXXX	001

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

●共通の項目は漏れなく入力してください

交付申請概要書

●共通

構造	造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> 木造一部RC造 <input type="checkbox"/> その他()
階数	地上	2階 地下 階建て
築年数		39年
今回リフォーム時の増築・減築の有無※	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	→ 増築部分の面積 15.50 m ² → <input checked="" type="checkbox"/> 確認申請有り → 減築部分の面積 m ² → <input type="checkbox"/> 法適合性の確認済み
新築時以降の増築・減築・改修の有無※(上記を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	→ 増築部分の面積 m ² → <input type="checkbox"/> 確認申請有り → 減築部分の面積 m ² → <input type="checkbox"/> 法適合性の確認済み → 改修部分の面積 m ² → <input type="checkbox"/> 法適合性の確認済み
非住宅部分の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	→ 非住宅部分の面積 m ²
今回、新築時以降で増築のある場合	<input type="checkbox"/> 防火地域 <input type="checkbox"/> 準防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

※増築・減築の有無には面積、確認申請の有無に関わらず記入してください。

以下は、各項目に該当する場合に入力してください

る欄を記入してください ~~~

●補助限度額50万円の加算対象の場合 (※は、買取再販業者は対象外です。)

<input type="checkbox"/> 既存住宅購入に伴って実施する※	住宅の売買契約の締結日	年 月 日
<input checked="" type="checkbox"/> 若者(40歳未満)である※	令和6年4月1日時点での発注者の年齢	38 歳
<input type="checkbox"/> 子育て世帯(18歳未満の子を有する世帯)である※	令和6年4月1日時点または、申請日時点での子の年齢	歳

●安心R住宅の場合

対象住宅の売買前に売主が実施したリフォームで本事業の補助を受けている
 → 売主が実施したリフォームの交付申請時の住宅番号を記入

↑ 該当する場合にチェック(■)

●共同住宅、長屋の一棟申請を対象とする場合(事業タイプ共通)

※共同住宅で、複数棟についてまとめて1つの申請とする場合は、支援室にご連絡ください。
 申請する棟数、工事内容に応じた様式を送付します。

住棟全体の住戸数...①	①のうち要件を満たしている住戸数...②
戸	戸

●本事業以外の補助事業の応募状況を入力してください。

の補助対象工事費は「②/①」で割合「A」を求め、

●本事業以外の補助事業への応募状況

他の補助事業への応募	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (地方公共団体独自の補助事業を含めて記入してください)
■有の場合 右記について確認し、いずれかにチェックを記入	<input type="checkbox"/> 補助金の財源に国費が含まれていないことを確認している
	<input type="checkbox"/> 併用ではない。(契約書が別であり、工期についても重複していない)
■有の場合 他の補助金の概要	補助金の名称 :

補助金交付申請書（様式8の2）記入例

<認定長期優良住宅型・単価積上方式>

数量を入力すると、補助対象工事費が計算され「特定性能向上リフォーム工事」「その他性能向上リフォーム工事費」「三世帯同居対応改修工事」毎に集計されます。この集計された補助対象工事費は様式9に自動で反映されます。

様式8の2 1/8

Ver.1

事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号				住宅番号
認定長期優良住宅型	06-32XXXX-001	06	3	2	X	X	X

単価積上方式による補助対象工事費の算出表

(記載上の注意)

- 『交付申請等マニュアル』別表-6 単価積上方式に係る補助対象工事の当座工事内容及び単価積上方式に関する事項を参照してください。
- 補助工事単価の定めのないリフォーム工事を実施し、増改築認定基準に「リフォーム」欄に増改築認定基準に応じたリフォーム工事の内容を具体的に記載してください。
- 「補助対象工事費」は数量を入力することにより自動計算されます。
- 「工事完了時建築士チェック欄」は、リフォーム完了後にこの欄式のチェックを入れ完了実績報告時に改めて提出してください。

- 特定性能向上リフォーム工事の数量を入力してください。
- 当該工事を補助対象にしたい場合、数量の入力がないと補助対象工事費が自動計算されません。

1. 構造躯体等の劣化対策【木造】 適用する増改築認定基準	特定性能向上リフォーム工事				補助対象工事費		工事完了時 建築士チェック欄
	工事内容	数量	補助工事単価 単位	補助対象工事費	3,092,400		
a. 外壁の軸組等	外壁通気構造化	200.00 m	13,200 円/m ²	2,640,000	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	外壁通気構造化(カバー工法)		6,600 円/m ²	0	0		
	防腐・防蟻薬剤塗布 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	40.00 m ²	1,800 円/m ²	72,000	0		
b. 土台	防腐・防蟻薬剤塗布	50.00 m ²	1,800 円/m ²	90,000	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容						
c. 浴室及び脱衣室	ユニットバス化※	1 箇所	240,000 円/箇所	240,000	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	※1住戸1箇所のみ補助対象とし、ただし、三世帯同居改修工事、子育て世帯向け改修工事と重複しての適用はしない						
	浴室 防腐・防蟻薬剤塗布 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	6.00 m ²	1,800 円/m ²	0	0		
脱衣室	壁・下地、仕上いずれかで防水措置(ビニルクロス貼り等)	m ²	1,500 円/m ²	0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	床・下地、仕上いずれかで防水措置(塩ビシート貼り等)	m ²	5,700 円/m ²	0	0		
	壁・下地、仕上の両方で防水措置(耐水化粧合板貼り等)	m ²	5,100 円/m ²	0	0		
	床・下地、仕上の両方で防水措置(耐水フローリング貼り等)	m ²	9,900 円/m ²	0	0		
	防腐・防蟻薬剤塗布 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	m ²	1,800 円/m ²	0	0		
d. 地盤	土壌処理用薬剤による土壌処理	面状散布 m ²	2,700 円/m ²	0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	※1 带状散布	m	2,700 円/m	0	0		
	防湿コンクリートの設置※2	m	17,700 円/m	0	0		
e. 基礎	雨はね防止措置(芝、人工芝、砂利敷設)	m ²	6,300 円/m ²	0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	雨樋新設	m	1,800 円/m	0	0		
f. 床下	防湿フィルム敷き込み+乾燥砂敷	m ²	2,400 円/m ²	0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	防湿フィルム敷込(乾燥砂敷を伴わない方法を用いる場合)※1	m ²	1,200 円/m ²	0	0		
	防湿コンクリートの設置※2	m ²	17,700 円/m ²	0	0		
g. 小屋裏	小屋裏換気口の設置※1	箇所	11,700 円/箇所	0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	軒裏有孔ボードに貼り換え	m ²	3,600 円/m ²	0	0		
	屋根換気棟設置※2	箇所	22,800 円/箇所	0	0		
h. 床下・小屋裏の点検	床下点検口の設置※1※2	1 箇所	24,600 円/箇所	24,600	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	小屋裏点検口の設置※2	1 箇所	15,000 円/箇所	15,000	0		
	検査機器用の開口の設置	箇所	2,500 円/箇所	0	0		

軸組のうち、地面からの高さ1m以内の部分が対象です。

床下空間に露出する部分及び、今回の工事で露出する部分が対象です。

補助金交付申請書（様式8の2）記入例
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

様式8の2 4/8

Ver.1

事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号						住宅番号			
認定長期優良住宅型	06-32XXXX-001	06	0	3	2	X	X	X	X	0	0	1

4. 維持管理・更新の 容易性		特定性能向上リフォーム工事					工事完了時 建築士チェック欄	
適用する増改築認定基準	工事内容	数量	補助工事単価 単位	補助対象工事費 単位	348,000			
□ 一戸建ての住宅	排水管更新工事 全設備機器から第一樹まで※1 給水・給湯管更新工事 メーターから各機器まで※1.※2 ※3 給水・給湯管更新工事 さや管ヘッダー方式※1.※2 ※3 床下点検口の設置(床下収納庫(点検口兼用)設置を含む) ※4 配管点検口の設置 壁 ※5 検査機器用の開口の設置 ※1 部分的な交換を除く ※2 いずれかを補助対象 ※3 給水・給湯管の両方を更新の場合は数量 1、何れかを更新の場合は数量 0.6 ※4 「1劣化対策」(h床下・小屋裏の点検)の床下点検口と重複しないこと ※5 点検口は、450口相当以上の大きさのものに適用する。 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	1	式	129,000	円/式	129,000	0	
□ 共同住宅等	排水管更新工事 全設備機器から第一樹まで※1 給水・給湯管更新工事 メーターから各機器まで※1.※2 ※3 給水・給湯管更新工事 さや管ヘッダー方式※1.※2 ※3 床下点検口の設置(床下収納庫(点検口兼用)設置を含む) ※4 配管点検口の設置 壁 ※5 検査機器用の開口の設置 ※1 部分的な交換を除く ※2 いずれかを補助対象 ※3 給水・給湯管の両方を更新の場合は数量 1、何れかを更新の場合は数量 0.6 ※4 「1劣化対策」(h床下・小屋裏の点検)の床下点検口と重複しないこと ※5 点検口は、450口相当以上の大きさのものに適用する。 補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム工事の内容	式	式	129,000	円/式	0	0	
共用配管の構造	補助工事単価の定めなし							

5. 可変性 (共同住宅及び長屋の場合)		特定性能向上リフォーム工事			工事完了時 建築士チェック欄	
工事内容		補助工事単価 単位	補助対象工事費 単位			
補助工事単価の定めがない基準適合のためのリフォーム						

性能項目毎のリフォーム工事以外の、その他性能向上リフォーム工事の数量を入力してください。

その他性能向上リフォーム工事		数量	補助工事単価 単位	補助対象工事費 単位	772,050	工事完了時 建築士チェック欄	
インスペクション指摘事項 への対応	外壁塗装	m ²	1,800	円/m ²	0	□適 □否	
	外壁補修(外装材の張り替え)	m ²	6,600	円/m ²	0	□適 □否	
	屋根塗装	m ²	1,800	円/m ²	0	□適 □否	
	屋根補修	m ²	600	円/m ²	0	□適 □否	
	防水工事(FRP防水)	m ²	10,800	円/m ²	0	□適 □否	
	防水工事(シート防水等)	m ²	10,800	円/m ²	0	□適 □否	
	コーキング打ち替え	m	600	円/m	0	□適 □否	
	クラック補修	m	1,200	円/m	0	□適 □否	
	屋根張り替え(下地含む)	m ²	48.10	10,500	円/m ²	505,050	□適 □否
	屋根張り替え(下地含まず)	m ²	7,200	円/m ²	0	□適 □否	
	雨樋交換	m	1,800	円/m	0	□適 □否	
	軒天・軒裏張り替え	m ²	2,400	円/m ²	0	□適 □否	
不同沈下、木造住宅の腐朽蟻害の補修	式		円/式	0	□適 □否		
※内訳書に該当箇所が分かるよう明示し、集計してください							
省エネルギー	高断熱浴槽設置	1	180,000	円/箇所	180,000	□適 □否	
	節水型トイレ交換	1	87,000	円/箇所	87,000	□適 □否	
	節湯水栓	1	18,000	円/箇所	0	□適 □否	
高齢者等対策・高齢期に 備えた住まいへの対策	手すり設置(I型手すり)	m	9,000	円/m	0	□適 □否	
	手すり設置(L型手すり)	本	16,500	円/本	0	□適 □否	
	手すり設置(階段手すり)	式	51,900	円/式	0	□適 □否	
	玄関から道路までの通路への手すり設置	m	9,000	円/m	0	□適 □否	
	床段差解消(踏み台の設置及び浴室の段差解消には適用しない)	箇所	29,100	円/箇所	0	□適 □否	
	ホームエレベーターの設置	箇所	2,700,000	円/箇所	0	□適 □否	
	屋外スロープ(玄関アプローチ)の設置	箇所		円/箇所	0	□適 □否	
	※内訳書に該当箇所が分かるよう明示し、集計してください						
	便所・浴室の床面積 増加、間取り変更	ユニットバスの大型化	箇所	300,000	円/箇所	0	□適 □否
	洗浄を容易にする水栓器具の設置		箇所	18,000	円/箇所	0	□適 □否
	余った居室の活用	便所の設置※	箇所	300,000	円/箇所	0	□適 □否
※大便器のあるもの。小便器のみは補助対象外							
椅子や車椅子に座って使用できる調理台の設置		箇所	690,000	円/箇所	0	□適 □否	

実費工事費を入力してください。

補助金交付申請書（様式8の2）記入例
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

様式8の2 5/8

Ver.1

事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号				住宅番号
認定長期優良住宅型	06-32XXXX-001	06	3	2	X	X	001

特定性能向上リフォーム工事又はその他性能向上リフォーム工事（仮設足場を要する工事の区分による）				工事完了時 建築士チェック欄	
工事内容	数量	補助工事単価 単位	補助対象工事費		
仮設足場	仮設足場の設置（外壁）→ □ 特定性能向上工事の附帯	㎡	900 円/㎡	0	□適 □否
	仮設足場を要する工事（ □ その他性能向上工事の附帯	㎡	900 円/㎡	0	
	仮設足場を要する工事（ 仮設足場の設置（屋根）→ □ 特定性能向上工事の附帯	㎡	900 円/㎡	0	
	仮設足場を要する工事（ □ その他性能向上工事の附帯	㎡	900 円/㎡	0	

↑ 該当する場合にチェック（■）し、附帯とした工事の内容を記載してください。

三世帯同居対応改修工事				工事完了時 建築士チェック欄	
工事内容	増設する数	補助工事単価 単位	補助対象工事費		
調理室の増設工事	■ ミニキッチン以外のキッチンを設置するもの キッチンの間口 ()mm	1 箇所	690,000 円/箇所	690,000	□適 □否
	□ ミニキッチンを設置するもの ※1	箇所	300,000 円/箇所		
※1 リフォーム後にミニキッチン以外の一般的なキッチンを有する調理室があること。					
浴室の増設工事	■ 浴槽を設置し、給湯設備を設置するもの	1 箇所	690,000 円/箇所	690,000	□適 □否
	□ 浴槽を設置し、給湯設備を設置しないもの	箇所	690,000 円/箇所		
	□ 浴槽のないシャワー室を設置するもの ※2	箇所	390,000 円/箇所		
※2 リフォーム後に浴槽を有する浴室が別に設置されていること。					
便所の増設工事	■ 便所の設置 ※大便器のあるもの。小便器のみは補助対象外	1 箇所	300,000 円/箇所	300,000	□適 □否
玄関の増設工事	■ 地上階に玄関を増設するもの ⇒ 土間の面積 1.37 ㎡	1 箇所	①～⑦の合計→	147,000	□適 □否
	□ 地上階以外の階に玄関を増設するもの ⇒ 土間の面積 ㎡	箇所	①～⑧の合計→		
工事内容の詳細	番号	対象となる工事の内容	! 実工事費入力		
	①	□ 玄関ドア設置工事 □ 開口部の躯体工事	147,000 円		
	②	□ 玄関土間敷設工事	円		
	③	□ 電気工事 □ 照明設備工事 □ インターホン設置工事	円		
	④	□ 内装・下地工事	円		
	⑤	□ 下駄箱、手すり等の設置工事	円		
	⑥	□ 郵便受け設置工事	円		
	⑦	□ その他工事 ()	円		
⑧	□ 上層階玄関等への外階段設置工事	円			

※増設する箇所ごとに、チェック（■）してください。

※改修工事箇所がわかるように設計図に記載してください。また、玄関の増設工事については工事費の内訳書において「対象となる工事の内容」の箇所が特定できるよう明示し、集計してください。

実工事費を入力してください。

補助金交付申請書（様式8の2）記入例 ＜認定長期優良住宅型・単価積上方式＞

様式8の2 6/8

Ver.1

事業タイプ	年度	事業者番号				住宅番号		
認定長期優良住宅型	0 6 -	3	2	x	x	x	x	- 0 0 1

〇子育て世帯向け改修工事		工事内容		数量	補助工事単価	補助対象工事費	工事完了時 建築士チェック欄	
					単位	0		
ア	住宅内の事故防止	<input type="checkbox"/> 床の仕上げをクッションフロアに変更		㎡	5,700	円/㎡	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
イ	子どもの様子の見守り	<input type="checkbox"/> キッチンセットの交換を伴う対面化工事		箇所	690,000	円/箇所	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
ウ	不審者の侵入防止	<input type="checkbox"/> サッシの交換※1※2	ガラス交換	大サイズ	箇所	60,900	円/箇所	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
				中サイズ	箇所	36,000	円/箇所	
				小サイズ	箇所	24,000	円/箇所	
		カバー工法	大サイズ	箇所	90,000	円/箇所		
			中サイズ	箇所	72,000	円/箇所		
			小サイズ	箇所	63,000	円/箇所		
		既存サッシ交換（枠ごと交換）	大サイズ	箇所	150,000	円/箇所		
中サイズ	箇所		108,000	円/箇所				
小サイズ	箇所		99,900	円/箇所				
	<input type="checkbox"/> 玄関ドアの交換※1※2	大サイズ	箇所	150,000	円/箇所			
		小サイズ	箇所	99,900	円/箇所			
エ	災害への備え	<input type="checkbox"/> 玄関ドアの交換※1		大サイズ	箇所	150,000	円/箇所	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
			小サイズ	箇所	99,900	円/箇所		
オ	親子がふれあえる空間づくり	<input type="checkbox"/> キッチンセットの交換を伴う拡張工事		箇所	690,000	円/箇所	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		<input type="checkbox"/> ユニットバスの大型化		箇所	690,000	円/箇所		
カ	子どもの成長を支える空間づくり	<input type="checkbox"/> トイレの拡張工事		箇所	300,000	円/箇所	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		<input type="checkbox"/> キッズスペースを設置するために行う床仕上げの張替工事		㎡	5,700	円/㎡		
キ	生活騒音への配慮	<input type="checkbox"/> サッシの交換※1	内窓設置	大サイズ	箇所	79,800	円/箇所	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
				中サイズ	箇所	48,900	円/箇所	
				小サイズ	箇所	34,800	円/箇所	
		カバー工法	大サイズ	箇所	90,000	円/箇所		
			中サイズ	箇所	72,000	円/箇所		
			小サイズ	箇所	63,000	円/箇所		
		既存サッシ交換（枠ごと交換）	大サイズ	箇所	150,000	円/箇所		
中サイズ	箇所		108,000	円/箇所				
小サイズ	箇所		99,900	円/箇所				
	<input type="checkbox"/> 玄関ドアの交換※1	大サイズ	箇所	150,000	円/箇所			
		小サイズ	箇所	99,900	円/箇所			

※1 玄関ドアの交換、サッシの交換で採用するガラス交換、カバー工法、既存サッシ交換にあたっては省エネルギー対策の評価基準にあたる「開口部の一定の断熱措置」に定める熱貫流率、日射熱取得率のものとする。開口部については、仕様・性能のわかるカタログ等のコピーを添付してください。

※2 ドア、サッシ、ガラス等リフォームする部分全てがCPマーク取得したものに限定する。

※3 一つの工事を複数の費目で補助対象とすることはできません。

（例：キッチンセットの交換を伴う対面化工事とキッチンセットの交換を伴う拡張工事、本道の劣化対策でのユニットバス化とユニットバスの大型化）

- ・該当する工事内容に、チェック（■）、数量をいれてください。
- ・補助対象工事の適用にあたっては交付申請書等マニュアル別表-6補足資料の備考を準用してください。

補助金交付申請書（様式8の2）記入例 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

様式8の2 8/8

Ver.1

事業タイプ	年度	事業者番号	住宅番号
認定長期優良住宅型	06-32XXXX-001		

単価積上方式による補助対象工事費の算出表

単位：円

補助対象となる 性能向上等リフォーム工事	補助対象工事費					
	特定性能向上 リフォーム工事	その他性能向上 リフォーム工事	三世同居対応 改修工事	子育て世帯向け 改修工事	防災性の向上 改修工事	レジリエンス性の 向上改修工事
1. 構造躯体等の劣化対策	3,092,400					
2. 耐震性	1,396,640					
3. 省エネルギー対策	2,929,080					
4. 維持管理・更新の容易性	348,000					
5. 可変性	—					
6. 高齢者等対策	—					
インスペクション指摘事項への対応		505,050				
省エネルギー対策		267,000				
高齢者等対策		0				
仮設足場	0	0				
調理室の増設			690,000			
			690,000			
			300,000			
			147,000			
				0		
イ. 子どもの様子の見守り				0		
ウ. 不審者の侵入防止				0		
エ. 災害への備え				0		
オ. 親子がふれあえる空間づくり				0		
カ. 子どもの成長を支える空間づくり				0		
キ. 生活騒音への配慮				0		
ク. 地震災害への備え					0	
					866,775	
					0	
						7,200
補助対象工事費の合計	7,766,120	772,050	1,827,000	0	866,775	7,200
未済切り捨	7,766,000	772,000	1,827,000	0	866,000	7,000

上記で計算した補助対象工事費がそれぞれ自動で計算されます。

自動計算の結果が正しく反映されているか、必ず確認してください。

様式9に転記されているか、必ず確認してください。

様式9 C31に記入！ 様式9 F31に記入！ 様式9 M31に記入！ 様式9 I11に記入！ 様式9 O11に記入！ 様式9 V11に記入！

補助金交付申請書（様式9）記入例

<認定長期優良住宅型・単価積上方式>

補助対象工事が含まれる契約のみ契約額を入力してください

当初の契約は①の欄に入力してください

変更契約がある場合は②の欄以降に全て入力してください

加算の対象に該当する場合は、チェック（■）を入れてください

交付申請番号	06-32XXXX-001
--------	---------------

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

交付申請額算出表（単価積上方式用）

※交付申請書等の場合は交付申請額が計算されません。

契約の種類	契約額（円）
①:工事請負契約（インスペクション等が含まれていても可）	16,500,000
②:①以外の契約	380,000
③:①②以外の契約	
④:①③以外の契約	
⑤:①④以外の契約	
⑥:①⑤以外の契約	
⑦:①⑥以外の契約	
契約額の合計	16,880,000

補助限度額ごとに活用する住戸数		事業タイプに応じて補助対象とする工事に該当する住戸数をチェック	
事業タイプ	評価基準型	認定長期優良住宅型	提案型
性能向上のみ	戸	戸	戸
加算がある場合	(800千円/戸)	(1,600千円/戸)	(2,100千円/戸)
三世帯同居対応改修のみ*	戸	戸	戸
	(500千円/戸)		
性能向上+三世帯同居対応改修	戸	1戸	戸
	(1,300千円/戸)	(2,100千円/戸)	
補助対象戸数	1	補助限度額の合計	2,100千円A
			500千円B
			補助限度額の合計
			2,100千円C

該当する欄に住戸数を入力してください

インスペクション等の費用（消費税抜）		補助対象額の算定		
補助対象となる費用	発注者直接払い※1	契約額①	補助対象額の上限②	補助対象額①②の何れか低い額
インスペクション費用★	<input checked="" type="checkbox"/>	100,000	150,000	100,000
リフォーム計画の作成費用	<input type="checkbox"/>	60,000	60,000	60,000
建築士による適合確認費用★	<input type="checkbox"/>	60,000	60,000	60,000
長期認定取得に要する費用	<input type="checkbox"/>	30,000	60,000	60,000
BELS評価書取得に要する費用	<input type="checkbox"/>	50,000	60,000	60,000
建築士による工事内容確認費用★	<input type="checkbox"/>	60,000	60,000	60,000
維持保全計画書作成費用	<input type="checkbox"/>	30,000	30,000	30,000
リフォーム瑕疵保険の保険料(検査料含む)	<input type="checkbox"/>	30,000	30,000	30,000
合計		420,000		0

施工業者が交付申請者の場合は、保険の仕組み上発注者直接払いは選べません。

補助対象とする場合に入力してください
「発注者直接払い※1」を除き契約書の添付が必要です

契約額に乘じる補助対象工事比率は一律0.8

契約額に乘じる補助対象工事費率	0.80
(契約額の合計 - J1) / 1000 × 補助対象工事費率0.8 × 補助率(1/3)	4,389千円

項目	補助事業に要する経費	申請額算定用小計
特定性能向上リフォーム工事費	C3 (様式8, 8より) 7,766 (千円)	E2=C3×1/3 2,588 (千円)
その他性能向上リフォーム工事費	F3 (様式8, 8より) 772 (千円)	F4=F3×1/3 257 (千円)
性能向上改修工事費 (小計)	I1 (様式8, 8より) 0 (千円)	I2=I1×1/3 0 (千円)
性能向上改修工事費	O1 (様式8, 8より) 866 (千円)	O2=O1×1/3 288 (千円)
レジリエンス性の向上改修工事費	V1 (様式8, 8より) 7 (千円)	V2=V1×1/3 2 (千円)
防災性の向上・レジリエンス性の向上改修工事費 (小計)	M1=(U1+V1)か450千円のいずれか低い額 873 (千円)	M2=(O2+V2)か150千円のいずれか低い額 150 (千円)
インスペクション等に要する費用	J3 (単位変換: J2/1000) 400 (千円)	J=J3×1/3 133 (千円)
性能向上リフォーム工事 (合計)	K1=C3+F3+I1+O1+V1+M1 9,811 (千円)	K2=E2+M2+J 3,128 (千円)
三世帯同居改修工事	M3 (様式8, 8より) 1,827 (千円)	M2=M3×1/3 609 (千円)
合計	11,638 (千円)	

補助額上限の比較	
単価による積み上げ	契約額から求める上限
P: [A]か[R2]のいずれか低い額、または、J (千円)	2,100 (千円)
Q: [B]か[M2]のいずれか低い額 (千円)	500 (千円)
R1: [P+Q]か[U]のいずれか低い額以下(千円)	2,100 (千円)
R2=R-J (千円)	4,522 (千円)
R1・R2:三世帯同居対応改修工事のみの場合は、[P+Q]	
交付申請額	S: [R1]か[R2]か [100000]のいずれか低い額以下(千円) 2,100 (千円)

様式8の2から転記されているか必ず確認してください

様式1に転記してください

1. 消費税等は除いた額を記入してください。
2. 千円未満は、切り捨て処理とさせていただきます。
3. その他性能向上リフォーム工事の補助額 (H2) は特定性能向上リフォーム工事の補助額 (E2) を超えることはできません。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式14の1）記入例
 <認定長期優良住宅型・単価積上方式>

様式14の1

事業タイプ
認定長期優良住宅型

交付申請番号	年度	事業者番号	住宅番号
	0 6	- 3 2 × × × ×	- 0 0 1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

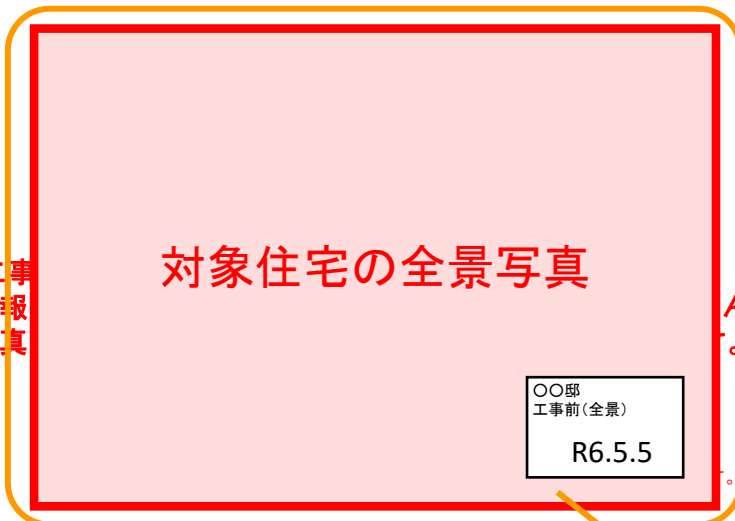
対象住宅の全景写真(2面)

複数棟ある場合はこの様式を住棟毎に1枚作成してください。

住棟番号

工事前	撮影日
	令和 6 年 5 月 5 日

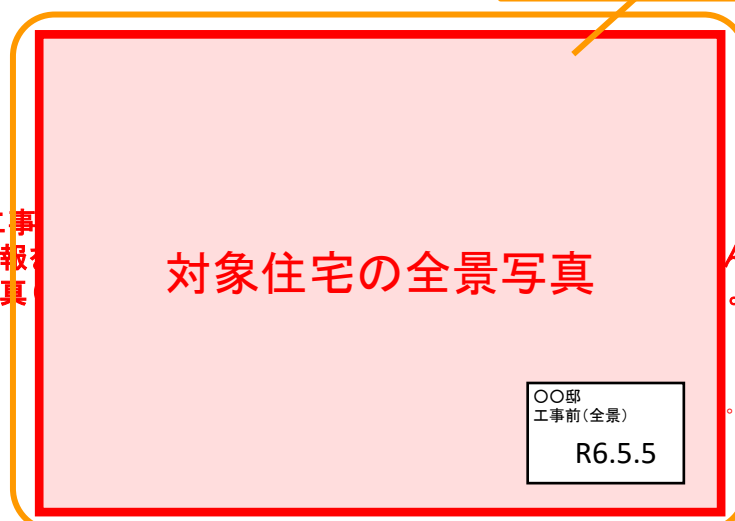
※工事
情報
写真



〇〇邸
工事前(全景)
R6.5.5

補助対象とした住宅の全景が確認
できる写真としてください
現場名、日付入の工事看板を入れて
撮影してください

※工事
情報
写真



〇〇邸
工事前(全景)
R6.5.5

<留意事項>

1. 工事写真には必ず看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載してください。
2. 記入等は黄色いセルの部分のみとしてください。白いセルの部分は編集しないでください。